

日本臨床整形外科学会雑誌

規程集

論文投稿について

日本臨床整形外科学会雑誌（日臨整誌）への投稿

国際化プロジェクト論文、和文一般論文

投稿規程

執筆要項

学術集会発表演題論文

投稿規程

手引集

電子投稿の手引き [国際化プロジェクト論文、和文一般論文]

文献の記載の手引き [国際化プロジェクト論文、和文一般論文、学術集会発表演題論文]

文献の添付の手引き [国際化プロジェクト論文、和文一般論文]

様式集

様式第1 [国際化プロジェクト論文、和文一般論文]

様式第3 [国際化プロジェクト論文、和文一般論文、学術集会発表演題論文]

様式第5 [国際化プロジェクト論文、和文一般論文、学術集会発表演題論文]

様式第6 [国際化プロジェクト論文、和文一般論文、学術集会発表演題論文]

注：従来の様式第2、第4は廃止

括弧内は対象となる論文投稿の区分

一般社団法人日本臨床整形外科学会における事業活動の利益相反（COI）に関する指針

一般社団法人日本臨床整形外科学会における事業活動の利益相反に関する規則

論文投稿について

日本臨床整形外科学会雑誌（日臨整誌）と JCOA 会報は、論文の投稿を歓迎します。



The Journal of the
Japanese Clinical Orthopaedic Association

日本臨床整形外科学会雑誌
査読がある学術雑誌

- ・ 会員以外の学術集会演者（医療スタッフ含む）の投稿論文も募集しています。
- ・ 最新の規程集をウェブに掲載しています。
- ・ 下記区分表のいずれかの区分に投稿してください。



JCOA会報

査読がなく投稿しやすい会報

- ・ 学術集会での発表を業績として残すことができます。
- ・ 会報掲載の会報投稿規程をご覧ください。
- ・ 査読はなく、編集を経て掲載されます。

日本臨床整形外科学会雑誌の論文投稿の区分

区分	概要	規程	投稿先
国際化プロジェクト論文	原則としてこの区分で投稿。 和文で論文を投稿，英文で刊行。 和文原稿で受付チェックと査読。 和文原稿の編集，著者校正を経て，和文原稿を専門家が英訳。 執筆者が会員の場合，英訳の費用は学会が負担。	国際化プロジェクト論文，和文一般論文の共通の投稿規程，執筆要項。	本学会事務局
和文一般論文	従来と同様の和文論文。 政策，経済，法制度など，和文で発表する必要があるものはこの区分。 そのほか，英訳を希望しない場合もこの区分で投稿。		
学術集会発表演題論文	演題発表の際に原稿も同時に準備。 オンライン投稿システムから投稿。 受け付けられなかった（オンライン投稿システムをパスしなかった）場合は，執筆し直して，国際化プロジェクト論文か和文一般論文として雑誌に投稿するか，または会報に投稿。 和文要旨は，本学会が費用を負担して英訳。	学術集会発表演題論文投稿規程	オンライン投稿システム

日本臨床整形外科学会雑誌（日臨整誌）への投稿

整形外科学，運動器医学および整形外科領域の医療に寄与する論文の投稿を受け付けています。

お知らせ

- 論文は，原則として，国際化プロジェクト論文の区分で投稿してください。国際化プロジェクト論文は，和文で投稿された論文を英文（専門家による英訳，主著者が会員の場合は本学会が費用を負担）で刊行します。政策，経済，法制度など和文で発表する必要がある場合と著者が英訳を希望しない場合は，従来同様の論文投稿である和文一般論文の区分で投稿してください。
- 和文一般論文の場合は，英文 abstract が必須です。英文 abstract を用意できない場合，和文要旨から英訳するサービスを申し込むことができます（費用は著者負担）。
- 学術集会発表演題論文は，学術集会で発表した演題をそのまま発表原稿やスライドの図表を利用して投稿する区分です。学術集会発表演題論文を投稿し刊行された場合，同じ内容の論文や著作物を他に発表することは，二重投稿になるためできません（著作権は本学会に譲渡され，原著論文と同じ取り扱いになります）。
- すべての論文投稿で利益相反の申告は必須です。
- キーワードは不要です（和語英語とも廃止）。

投稿にあたって論文原稿に添付（学術集会発表演題論文の場合は別送）していただくもの

	国際化プロジェクト論文 和文一般論文	学術集会発表演題論文
投稿原稿の表紙（様式第1）	○	×
利益相反自己申告書（様式第3）	○	○
文献のコピー（文献の添付の手引き参照）	○	×
許諾文書（必要な場合，様式第5）	○	○

注：○必要 ×不要

従来の様式第2，第4は廃止。

学術集会発表演題論文の場合，論文はオンライン投稿システムから投稿し，添付書類はそれとは別に本学会事務局まで送付してください。

日本臨床整形外科学会事務局

郵便番号 110-0016

東京都台東区台東4丁目26番8号

御徒町台東ビル6階

電子メールアドレス jcoa@ab.inbox.ne.jp

投稿規程

国際化プロジェクト論文、和文一般論文

- この規程は、日本臨床整形外科学会雑誌（略称、日臨整誌）に掲載する国際化プロジェクト論文と和文一般論文の投稿原稿の作成および投稿方法などについて定める。
- 論文は、本規程、執筆要項、および手引集に定める方法で原稿を作成して投稿すること。
- ここにないことがらについては、ICMJE Recommendations に準じること。

1 著者資格 (Authorship Policy)

主著者および共著者は、原則として本学会会員および本学会が認めた者に限る。

1. 共著者は、論文に実質的かつ知的に貢献し、担当部分に責任を持つことができる者に限り、様式第1に論文に貢献した順に記載すること。
2. 責任著者 (corresponding author) 1人を様式第1で明示すること。
3. 儀礼上のオーサーシップ (gift author, guest author など) は認められない。

2 二重投稿の禁止

1. 投稿論文は、未発表または他に発表予定がないものに限る。
2. 同様または類似した内容の先行発表や二重投稿とみなされる可能性がある先行発表がある場合には、これらのコピーを添付し申告すること。
3. 著者は、編集委員会から説明を求められたときには、詳しく説明しなければならない。

3 利益相反の開示 (Conflict of Interest Policy)

主著者およびすべての共著者は、本学会が定める事業活動の利益相反 (COI) に関する指針とその規則に基づき、論文の内容に影響を及ぼす可能性がある利益相反の状態を明示しなければならない (様式第3参照)。

1. 主著者、共著者全員が、それぞれ別個に、様式第3 (日本臨床整形外科学会雑誌利益相反自己申告書) に記載して提出すること。
2. 様式第3の申告の内容から金額など実額がわかる情報を省いて利益相反状態を要約した和文と英文のステートメントを様式第1に記載すること。これらは、校正、編集して掲載される。

4 著作権

論文の著作権は、本学会に帰属する。

1. 主著者および共著者全員が本学会への著作権の譲渡に同意したものとみなす。
2. 本学会の許諾なく、投稿以後、論文または論文の著作権を使用してはならない。
3. 著者は、自身の所属機関の機関リポジトリ、データベース、紀要、病院誌、記録集、およびウェブサイトなどに、掲載された自身の論文 (複写、発行された雑誌の別刷、または本学会ウェブサイトに掲示された電子ファイル) を、完全な形においてのみ、商用目的ではない場合に限り、出典と著作権関係を明示して掲載することができる。その際、様式第6-1 (機関リポジトリ収載) にて本学会に連絡すること。
4. 掲載された論文の全部または一部を転載、改変して利用、または引用の範囲を超えて利用しようとする場合は、様式第6-2 (転載許諾願い) により、本学会の許諾を得ること。

5 他の刊行物などの利用および著作権の侵害

他の刊行物などの全部または一部を転載、改変して利用、または引用の範囲を超えて利用しようとする場合は、著者がその著作権者の許諾を得なければならない。

1. 様式第5 (転載許諾願い) にて著作権者の許諾を得、その文書またはその写しを投稿論文に添付すること。
2. 論文に出典と許諾を明示すること。
3. 著作権関係が不明なもの、許諾の有無が不明なものを含む論文は、掲載しない。
4. 他者の著作権を侵害した場合は、著者が、そのすべての責任を負う。

6 倫理

厚生労働科学研究に関する指針、ヘルシンキ宣言、および CIOMS International Ethical Guidelines for Health-related Research Involving Humans を

遵守すること。所属機関の倫理委員会またはそれに準じる機関の承認を得ることが望ましい。

7 個人情報保護

個人情報は、匿名化すること。匿名化が困難な場合は、文書による同意を得ること。

1. 患者の姓名やイニシャル、患者番号など、個人を特定できる情報を記載しないこと。
2. 図や写真は、個人識別の不能化処理をすること。

8 受付、査読、採否、掲載の変更、編集

論文の掲載は、編集委員会で決定する。

1. 査読は、査読委員と編集委員とで行う。
2. 編集委員会は、字句の訂正、組版の修正などを行うとともに、著者に原稿の修正を求めることができる。
3. 編集委員会は、掲載を本学会会報に変更することができる。
4. 著者は、受付または受理されなかった場合、本学会会報への投稿に変更することを希望することができる。
5. 本学会会報への投稿に変更する場合、その時点で本学会事務局に届いている最も新しい原稿が本学会会報に投稿されたものとして取り扱い、本学会会報の投稿規定が適用される。
6. 編集委員会は、本雑誌に掲載した論文に問題が生じたときは、掲載を取り消すことができる。

9 日本臨床整形外科学会学術集会

本学会学術集会での発表は、本雑誌への投稿を求める。

10 著者校正

著者校正は1回行い、内容の変更はできない。

1. 国際化プロジェクト論文では、編集委員会で受理後の和文原稿の校正を行った後の和文原稿で行う。

2. 和文一般論文では、ゲラ第2稿で行う。

11 掲載料

掲載料は無料とする。

1. カラーの図表を掲載する場合は、別途料金を徴収する。
2. 文字数が規定を超える場合は、別途料金を徴収することがある。
3. 国際化プロジェクト論文の英訳の費用は、主著者が会員の場合は無料、主著者が非会員の場合は別途料金を徴収する。
4. 和文一般論文で著者からの要請により要旨を英訳する場合は、別途料金を徴収する。

12 別刷

別刷は、投稿時に著者が希望する場合に、30部以上10部単位で刊行時に製作し、30部を超えるものの費用は著者負担とする（様式第1に記入、別表参照）。

13 その他

掲載された論文の投稿原稿は、返却しない。

14 送稿、原稿送付先

投稿は、電子投稿（電磁媒体、電子メール）のみとし、電子投稿の手引きに従って、下記まで送付すること。

郵便番号 110-0016

東京都台東区台東4丁目26番8号

御徒町台東ビル6階

日本臨床整形外科学会

電子メールアドレス jcoa@ab.inbox.ne.jp

2007年6月1日制定

2019年5月31日改定

執筆要項

国際化プロジェクト論文, 和文一般論文

1 投稿原稿の区分と字数図表点数の区分

様式第1で国際化プロジェクト論文, 和文一般論文, レターのいずれか希望する区分を選択すること。

原稿の字数は, 本文, 付言と文献で数える。

1. 総説, 原著, 臨床経験など
12000字以内で図表は合計15点まで。
2. 症例報告, その他
6000字以内で図表は合計8点まで。
3. レター
2000字以内。

表, および写真, グラフ, 線画, チャートやイラストなどは, 1点ずつを別個に数える。

その他必要な事項は, 編集委員会が定める。

これらの区分にあてはまらない場合や不明な場合は, 投稿前に編集委員会に相談すること。

2 原稿の作成

1. 学術用語は, 医学用語辞典(日本医学会), 整形外科学用語集(日本整形外科学会), その他各学会の用語集に原則として従うこと。
2. 固有名詞と外国語は原則として原語で記載する。日本語化した外国語はカタカナで記載してよい。
3. 和文中の句点は全角のピリオド(。), 読点は全角のカンマ(,)を用いる。
4. 数量は, 原則として国際単位系(Le Système international d'unités, SI単位)に従う(mm, m, ml, l, mg, g, kg, °Cなど)。SI単位以外では, 医学分野で常用されているもの(mmHgなど)を用いる。
5. 暦年は, 西暦の全桁表示を基本とする(2019年, 2019年度のように表記)。法文などで和暦での記載を要する場合は, その限りではない。
6. 略語を用いる場合は, 初出時に, 日本語は正式な表記, 欧文はフルスペルを記して略語を示す(初出処理; 欧文と和語を併記することは差し支えない)。
略語は, 要旨と本文それぞれで初出処理を行い, 一度使用した後は, 一貫して使用する。
例 厚生労働省(以下厚労省)
rheumatoid arthritis(以下RA)
人工膝関節全置換術(total knee arthroplasty, 以下TKA)
7. 薬品, 材料や機器などの商品名を要旨および本文中

に記載するときは, 要旨, 本文のそれぞれの初出時に商品名, 商標または登録商標であることを明示する。

登録商標には®(○の中のRの右肩文字の記号, registered sign)を付記する。商品名に™(右肩文字のTM, trade mark sign)がついている場合は, それを付記する。

例 薬品名

一般名(商品名®または™)
diclofenac sodium(ボルタレン®錠25mg)

例 材料名, 機器名

一般名(商品名®または™, 会社名, 所在地)
アルミニウム製副子(アルフェンス®, アルケア, 東京)
MRI(Magnetom™, Siemens, Munich, Germany)

8. 統計は, 検定法, 有意水準とソフトウェアの情報を記載する。

例 IBM® SPSS® Statistics 21.0 (Mac® client version, IBM, Armonk, NY, USA)
StatView for Windows® Version 5.0 (SAS Institute, Cary, NC, USA)
医療データ専用統計解析ソフト Dr. SPSS II for Windows(東京, 南江堂, 2002年, version 11.0J, IBM, Armonk, NY, USA)

3 原稿の構成

原稿は, 表紙, 要旨(和文, 英文), 本文, 付言, 文献, 図表の表題と図の説明文, 図表で構成する。レターなどは, この限りではない。

1. 表紙は, 様式第1を用いるか, これと同等の書式で様式第1の各項を記載する。
2. 要旨は, 和文にて400字以内で, 論文の概要と最も重要な論点を簡潔に記述する。
原則として, 緒言(または目的, 背景など), (対象または材料などと)方法, 結果, 考察, 結論(または結語など)の各段落で構成する。症例報告は, 緒言, 症例, 考察, 結語の各段落で構成する。それぞれの冒頭に見出しを記すこと。
要旨は, 本文からは独立して扱い, 略語, 商品名の初出時の記載(初出処理)を行うこと。特に必要でない限り, 要旨中に商品名を記載することは避ける。
3. 和文一般論文は, 300 words 以内の英文 abstract

を記すこと。原則として objective (purpose or background), (materials and) methods, results, discussion, conclusion で構成する。症例報告では, introduction, case presentation, discussion, conclusion で構成する。それぞれの冒頭に見出しを記すこと。

著者は、英文 abstract を用意することができない場合、和文要旨からの英訳のサービスを申し込むことができる。その場合は、様式第1の申し込み欄で申し込むこと。英訳は、和文要旨のみに基づいて受理後に行われる。

4. 原則として、本文は、緒言(または目的、背景など)、(対象または材料などと)方法、結果、考察、結論(または結語など)で構成し、症例報告は、緒言、症例、考察、結語で構成すること。

5. 付言は、以下に例示する事項、その他に関する記述であり、本文の後ろに記す。

謝辞

貢献者や著者とするまでもない共同研究者、学会発表など先行発表。

転載の許諾など著作権に関する事項。

6. 文献は、必要不可欠なものとする。

論文中で言及した診断基準、評価基準、ガイドラインなどは、原典または信頼できる総説の参照を明示する。

文献の記載方法は、文献の記載の手引きに従い、筆頭著者姓のアルファベット順に記載し、本文中の参照箇所

には、文献番号を記入する。

私信などで十分な文献情報を記すことができない場合を除き、文献情報を調査することができるものであること。

文献は、文献の添付の手引きに沿ってコピーを1部ずつ付けること。

編集委員会は、著者に文献の完全なコピーの提出を求めることができる。

7. 図表には表題を、図には、原則として図を説明し簡略に結論づける説明文を付け、これらを文献の後に記載すること。本文とまったく、あるいはほとんど同じ文面の説明文は、付けるべきではない。

図表は、特にカラーのものを掲載する必要がある場合を除き白黒(グレースケール)、背景色は特に必要でない限り白とし、そのまま版下に使うことができる程度の鮮明、精彩な品質であること。

図表中の脚注には、次の記号を原則としてこの順番で用いる。

* † ‡ § || ¶ ** †† ‡‡

写真は、個人識別の不能化処理を行うこと。

例 目に入れる黒細線または眼球の黒塗り。

顔その他へのモザイク処理。

フィルム上の名前、個人識別につながるその他の文字、衣服の模様などの消去。

学術集会発表演題論文投稿規程

- この規程は、日本臨床整形外科学会雑誌（略称、日臨整誌）に掲載する学術集会発表演題論文の投稿について定める。
- 学術集会発表演題論文は、本規程にのっとり、オンライン投稿システムから投稿すること。
- 様式第3、第5は、国際化プロジェクト論文と和文一般論文のものを共用し、本学会事務局まで別送する。

1 定義、著者資格

本学会学術集会で発表した演題の内容をオンライン投稿システムから投稿するものである。

主著者および共著者は、発表した演題の演者（筆頭演者と共同演者）に限る。

2 二重投稿の禁止

1. 同様または類似した内容の先行発表や二重投稿とみなされる可能性がある先行発表がある場合には、これらのコピーを添付し申告すること。
2. 著者は、編集委員会から説明を求められたときには、詳しく説明しなければならない。
3. 同じ内容の論文や著作物を他に発表することはできない。

3 利益相反の開示 (Conflict of Interest Policy)

主著者およびすべての共著者は、本学会が定める事業活動の利益相反 (COI) に関する指針とその規則に基づき、論文の内容に影響を及ぼす可能性がある利益相反の状態を明示しなければならない（様式第3参照）。

1. 主著者、共著者全員が、それぞれ別個に、様式第3（日本臨床整形外科学会雑誌利益相反自己申告書）に記載して、紙のものを提出（本学会事務局まで別送）すること。
2. 様式第3の申告の内容から金額など実額がわかる情報を省いて利益相反状態を要約した和文と英文のステートメントをオンライン投稿システムの記入欄に記入すること。

4 著作権

論文の著作権は、本学会に帰属する。

1. 主著者および共著者全員が本学会への著作権の譲渡に同意したものとみなす。
2. 本学会の許諾なく、投稿以後、論文または論文の著作権を使用してはならない。
3. 著者は、自身の所属機関の機関リポジトリ、データベース、紀要、病院誌、記録集、およびウェブサイト

などに、掲載された自身の論文（複写、発行された雑誌の別刷、または本学会ウェブサイトに掲示された電子ファイル）を、完全な形においてのみ、商用目的ではない場合に限り、出典と著作権関係を明示して掲載することができる。その際、様式第6-1（機関リポジトリ収載）にて本学会に連絡すること。

4. 掲載された論文の全部または一部を転載、改変して利用、または引用の範囲を超えて利用しようとする場合は、様式第6-2（転載許諾願い）により、本学会の許諾を得ること。

5 他の刊行物などの利用および著作権の侵害

他の刊行物などの全部または一部を転載、改変して利用、または引用の範囲を超えて利用しようとする場合は、著者がその著作権者の許諾を得なければならない。

1. 様式第5（転載許諾願い）にて著作権者の許諾を得、その文書またはその写しを投稿論文に添付すること。
2. 論文に出典と許諾を明示すること。
3. 著作権関係が不明なもの、許諾の有無が不明なものを含む論文は、掲載しない。
4. 他者の著作権を侵害した場合は、著者が、そのすべての責任を負う。

6 倫理

厚生労働科学研究に関する指針、ヘルシンキ宣言、および CIOMS International Ethical Guidelines for Health-related Research Involving Humans を遵守すること。所属機関の倫理委員会またはそれに準じる機関の承認を得ることが望ましい。

7 個人情報保護

個人情報は、匿名化すること。匿名化が困難な場合は、文書による同意を得ること。

1. 患者の姓名やイニシャル、患者番号など、個人を特定できる情報を記載しないこと。
2. 図や写真は、個人識別の不能化処理をすること。

8 原稿の作成

1. 原稿の文字数やデータ量などは、オンライン投稿システムの制約内であること。
2. 図表は白黒（グレースケール）で作成すること。カラーの図表は、オンライン投稿システムの制約上、投稿できない場合がある。
3. カラーで投稿された図表は、カラー情報を破棄して白黒（グレースケール）で印刷する。カラーのものを白黒（グレースケール）化した場合に判読できなくなることがあるので注意すること。図表の編集製版での修正はしない。
4. 参考文献は、文献の記載の手引きに準じて記すこと。

9 受付, 査読, 採否, 掲載の変更, 編集

論文の掲載は、編集委員会で決定する。

1. 査読は、査読委員と編集委員とで行う。
2. 編集委員会は、字句の訂正、組版の修正などを行うとともに、著者に原稿の修正を求めることができる。
3. 編集委員会は、掲載を本学会会報に変更することができる。
4. 編集委員会は、本雑誌に掲載した論文に問題が生じたときは、掲載を取り消すことができる。

10 英文 abstract

英文 abstract は、和文要旨から本学会で英訳する（費用は本学会負担）。

11 著者校正

著者校正はゲラ第2稿で1回のみ行い、著者校正では内容の変更はできない。

12 掲載料

掲載料は無料とする。

13 別刷

別刷は、投稿時に著者が希望する場合に、30部以上10部単位で刊行時に製作し、30部を越えるものの費用は著者負担とする（別表参照）。

14 原稿の作成と提出

投稿原稿は、日本臨床整形外科学会のウェブサイトからリンクされたオンライン投稿システムから投稿すること。

2019年5月31日制定

電子投稿（電磁媒体や電子メールでの投稿）の手引き

国際化プロジェクト論文、和文一般論文

- 以下の各項の注意に沿って投稿原稿を作成してください。
- 受け付けることができない場合、または原稿の作り直しを要する場合があります。

1 使用するソフトウェア

1. 文章、表と線画である図（グラフ、チャートなど）は、以下のソフトウェアのいずれかで作成してください。

Microsoft 社製 Office

Apple 社製 iWork®

これら以外のソフトウェアで作成したい場合は、編集委員会に相談してください。

2. 電子ファイルの再現に問題が生じる場合があり、作り直しを求めることがあります。
再現性に支障を来す機種固有の機能（マクロなど）を持たせないようにしてください。
3. PDF (Portable Document Format)形式のファイルを投稿する場合でも、Office または iWork®のファイルを同梱してください。
4. 紙原稿を画像として電子化したものは、受け付けることができません（手で紙に描く線画やイラスト以外）。

2 文章の電子ファイル

文章の原稿は、Microsoft 社製 Word®または Apple 社製 Pages®を用い、A4 版縦置き横書き、1 行全角 40 文字（前後）、1 頁 40 行（前後）、文字の大きさは 12 ポイント（前後）に設定して作成し、各ページの下にページ番号を付記してください。

3 文字

1. アルファベット、算用数字、英文記号は、1 バイト文字（半角文字）を用いてください。
2. ローマ数字や丸の中の英数字、度量衡の単位の記号などでのいわゆる機種依存文字の使用は、避けてください。
ローマ数字は、アルファベットの 1 バイト文字の I, V, X, i, v と x で記載。
度量衡の記号は、c, m, k, g, l などのアルファベットの 1 バイト文字で記載。
3. 半角のカタカナ、半角の日本語記号は使用しないでください。

4. 人名などで特定の字体で表記する必要がある場合、論文の末尾にどの字体の漢字を記しているかを注記してください。

例 葛飾

論文の末尾に次のように記す。

4 ページ 6 行目の葛は、下がかぎの中に人の字の葛。

4 写真、画像の電子ファイル

X線写真、症例などの写真、画像は、白黒（グレースケール）とします。カラーのものを掲載する必要がある場合は、原稿にその旨の一文をつけてください。著者が製作費を負担することとします。

写真、画像の電子ファイルは、圧縮したり、Microsoft 社製 Word®, PowerPoint®などのファイル上に貼り付けたものではなく、オリジナルのものを 1 点ずつ別々に送稿してください。

各ファイルには、図表番号と同じファイル名を付けてください。

例 fig1a.tif

1. 1 点あたりのデータ量が少ない場合、印刷に適さず、受け付けることができません。
2. 個人情報の不能化処理や文字、記号、線などの書き込みが必要な場合は、加工していないオリジナルのもの、加工を施したものの両方の電子ファイルを送稿してください。
3. 写真や画像を組んだイメージとして Microsoft 社製 Word®や PowerPoint®などのソフトウェアのファイル、または PDF 形式のファイルに写真や画像を貼り付けたものも送稿していただいてもかまいませんが、鮮明、精細でオリジナルのデータ量を保持したものが版下に使える状態で正確に取り出すことができるように貼り付けてください。

5 図表の電子ファイル

白黒（グレースケール）、背景色は特に必要でない限り白（または設定なし）としてください。

カラーのものを掲載する必要がある場合は著者が製

作費を負担することとします。

フォントは、**太字（ボールド, bold）**を設定しないでください（印刷する文字が潰れます）。

手で紙に描いた線画やイラストや紙の刊行物をスキャナで取り込む場合は、グレースケール、300dpi (dot per inch) 以上の精細さで取り込み、TIFF 形式の場合は圧縮しない設定に、JPEG 形式やPDF 形式では圧縮率を最低（最高画質）に設定してください。

図表の各ファイルには、図表番号と同じファイル名を付けてください。

例 fig2b.jpg tab3c.xlsx

6 送稿

原稿の送付は、CD-ROM、USB メモリスティックなどの電磁媒体を送付するか、電子メールにファイルを添付して送稿してください。

1. CD-ROM、USB メモリスティックなどの電磁媒体を送付する場合は、破損を避けうる梱包を施し、電磁媒体の表面、容器には、論文名と主著者名を記してください。
2. 電子メールによる送稿の場合

電子メール 1 通あたりファイルを 1 ないし数点ずつ添付してください。

メール 1 通あたり、添付ファイルのサイズの合計が 4MB に収まるようにしてください。ファイルサイズが大きすぎると受け取ることができない場合があります。

電子メールのタイトルには投稿原稿であることを明記し、電子メール本文には投稿者および添付ファイルの情報を記載してください。

3. 電磁媒体を送付する場合、表紙（様式第 1）、COI 申告書（様式第 3）、文献のコピー一式、および必要な場合の転載許諾願（様式第 5、その他の手続きで許諾を得た場合はその文書）は、電磁媒体と同封するか、または COI 申告書（様式第 3）以外は、PDF、JPEG、TIFF などのファイルに電子化して他の原稿と同じ電磁媒体に記録して送付してください。COI 申告書（様式第 3）は、紙のまま送付してください。
- 電子メールによる送稿の場合は、これらの様式のうち、COI 申告書（様式第 3）以外は電子化してメールにファイルを添付して送付し、COI 申告書（様式第 3）は、別途、紙で送付してください。

文献の記載の手引き

国際化プロジェクト論文, 和文一般論文, 学術集会発表演題論文

- ・文献は、以下の例示に準じ、後から収集、追跡できるに足る情報を誤りなく記載してください。
- ・同一著者の文献が複数ある場合には、発表順に並べてください。
- ・著者複数の場合には、筆頭著者名のみを記し、共著者名は et al またはほかと記してください。
- ・インターネット上の情報があれば、閲覧できた日にちと URL/URI (Uniform Resource Locator/Uniform Resource Indicator), DOI (Digital Object Identifier) やデータベース上の符号 (Cochrane Database の CD, PubMed の PMID など) を記してください。
- ・近刊の本雑誌掲載の各論文での記載も参考にしてください。
- ・ここに例示する以外の場合には、ICMJE Recommendations に示されている例に準じてください。

1 雑誌

- ・雑誌名の省略は、その発行者による正式な略名を用いてください。
 - ・著者名. 表題. 誌名. 発行年; 巻 (必要な場合は号, suppl など) : 先頭頁-最終頁.
 - ・論文の表題名は、頭の 1 文字以外は、原則として (固有名詞や原語で大文字で表記する場合など以外) すべて小文字を使用してください。
- 1) 久保田亘ほか. 運動器不安定症に対する運動機能の向上 -通所リハビリテーションの取り組みから-. 日臨整誌. 2011; 36: 85-92.
 - 2) 木村雅史. 新鮮膝前十字靭帯断裂に対する新保存療法 -保存的修復法について-. MB Orthop. 1998; 11 (1): 45-50.
 - 3) 八木茂典. 肩の新しい解剖知見に基づいた機能評価とエクササイズ. Sportsmedicine. 2009; 21 (no. 9, 11 月号, 通号 115): 10-5.
 - 4) Rosenthal RE, et al. Osteomyelitis of the symphysis pubis: a separate disease from osteitis pubis. Report of three cases and review of the literature. J Bone Joint Surg Am. 1982; 64: 123-8.
 - 5) Staubli AE, et al. TomoFix: a new LCP-concept for open wedge osteotomy of the medial proximal tibia - early results in 92 cases. Injury. 2003; 34 (suppl 2): B55-62.

2 単行本

- ・著者名. 表題. 書名. 版. 編者 (訳者など). 発行地: 発行者 (社) ; 発行年. 先頭頁-最終頁.
- 1) 新井貞男. 脊椎の診察法. 運動器スペシャリストのための整形外科外来診療の実践. 日本臨床整形外科学会編. 東京: 中山書店; 2014. p. 2-4.
 - 2) Neumann DA. 体幹の筋: 筋間の機能的相互作用. 筋骨格系のキネシオロジー. 原著第 2 版. 島田智明ほか監訳. 東京: 医歯薬出版株式会社; 2012. p. 435-40.
 - 3) Lindquist TR. Three-dimensional Magnetic Resonance Rendering Techniques. Magnetic Resonance Imaging in Orthopaedics & Sports Medicine. Stoller DW ed. Philadelphia: J.B. Lippincott Company; 1993. p. 25-30.

3 学会抄録, 学会や会議での発表, 講演など

- ・会議名, 日時, 開催地, 開催場所など, 後から情報を追跡できるに足る事項を記載してください。
 - ・雑誌の別冊や抄録集に掲載されているものは、それら刊行物の文献情報を記してください。
- 1) 太田邦昭ほか. 腕支え上体起し (パピーポジション) と腹筋運動の組み合わせによる効果について. 第 23 回日本臨床整形外科学会学術集会. 横浜市. パシフィコ横浜. 2010 年 7 月 18~19 日. 第 23 回日本臨床整形外科学会学術集会抄録集. 2010. p. 167.

- 2) Kikuchi H, et al. The CTX-2 value compare knee joint osteoarthritis and Japanese standard. Annual European Congress of Rheumatology of the European League Against Rheumatism. Le Palais de Congrès de Paris, Paris, France. 11-14 June 2008. Ann Rheum Dis. 2008; 67 (suppl II): 593.

4 診断基準, 評価基準やガイドラインなど

・論文中で言及された診断基準, 評価基準やガイドラインなどは, 原典または信頼できる総説を明示してください。

- 1) 日本骨代謝学会. 原発性骨粗鬆症の診断基準 (2012 年度改訂版) [Internet]. [cited 2017 Dec 15]. Available from: <http://jsbmr.umin.jp/guide/pdf/g-guideline.pdf>
- 2) Kellgren LH, et al. Radiological assessment of osteo-arthrosis. Ann rheum Dis. 1957; 16: 494-502 [Internet]. [cited 2017 Nov 25]. Available from: <http://ard.bmj.com/content/17/4/388.full.pdf>

5 官公庁や団体からの発表, 資料など

- 1) 厚生労働省. 要介護者等の状況. 平成 22 年国民生活基礎調査の概況. 2011 年 7 月 12 日. p.30 [Internet]. [cited 2017 Dec 15]. Available from: <http://www.mhlw.go.jp/toukei/saikin/hw/k-tyosa/k-tyosa10/dl/gaikyou.pdf>

6 新聞その他の報道, データベース, ウェブページなどのインターネット上の情報

- 1) 橋本圭子. 警察への医療事故の届け出, 2007年は3割増. m3.com 医療維新. 2008年6月4日. [Internet]. [cited 2017 Nov 25]. Available from: <https://www.m3.com/open/iryoiShin/article/87241/>
- 2) Harato K, et al. Pseudogout at the knee joint will frequently occur after hip fracture and lead to the knee pain in the early postoperative period. Journal of Orthopaedic Surgery and Res. 2015; 10: 4. doi:10.1186/s13018-014-0145-9 [Internet]. [cited 2017 Nov 25]. Available from: <http://www.josr-online.com/content/pdf/s13018-014-0145-9.pdf>

7 判決文, 法令

- 1) 大阪高等裁判所. 昭和63 (ネ) 1052. 1989年5月12日. 判例時報. 1990; 1340: 132-4.
- 2) 医師法. 昭和23年7月30日 法律第201号. 最終改正 平成19年6月27日 法律第96号 [Internet]. [cited 2015 Jan 18]. Available from: <http://law.e-gov.go.jp/htmldata/S23/S23H0201.html>

8 薬品, 機器の添付文書

・製品によって, 登録商標記号®が付く位置がさまざまであることに留意してください。

- 1) 科研製薬株式会社. アルツディス® 関節注25mg. 添付文書. 2016年7月改訂 (第17版) [Internet]. [cited 2017 Nov 25]. Available from: http://www.kaken.co.jp/medical/tenbun/artzdispo/pdf/artzdispo_201607.pdf

文献の添付の手引き

国際化プロジェクト論文, 和文一般論文

- ・文献は、適切に参照され、文献情報が正しく記載されていることが必要です。文献情報のほか、引用の妥当性や著作権などの確認を要する場合があります、これに困難を伴うため、文献のコピーの添付を求めています。
- ・参考に挙げられたすべての文献は、それら各々の少なくとも最初のページのコピーを付けてください。
- ・最初のページではその文献情報が分からない場合（本の中の一節など）は、以下の例示に準じて、その文献情報を得るのに必要な部分のコピーも添付してください。
- ・学会や会議での発表や講演、私信、放送、インターネット上からなくなったウェブページは、この限りではありませんが、以下の例示のように、できるだけ情報の出典を明らかにしてください。
- ・文献を入手せずにPubMedのウェブページのコピーで済ますようなことは、避けてください。
- ・添付が困難な事例があれば、投稿前に編集委員会に相談してください。

1 雑誌

各論文の最初のページは必須です。全部のページがあれば、なおよいです。

2 単行本

該当部分の最初のページに加え、目次、表紙、扉、標題紙、奥付など、刊行情報が分かる部分は必須です。該当部分のページが全部あれば、なおよいです。

3 学会抄録、学会や会議での発表、講演など

抄録集の該当ページとともに、表紙または扉、標題紙などで開催情報が分かる部分。会議の場合は、プログラム、ポスターなどで開催情報と当該の発表が分かるもの。

4 診断基準、評価基準やガイドラインなど

雑誌に掲載されたものは、雑誌に準じ、単行本や冊子の形のものは、単行本に準じてください。

5 官公庁や団体からの発表、資料など

いつ誰が発行したか分かる部分と文献の少なくとも最初のページのコピーを付けてください。

6 新聞その他の報道、オンラインジャーナル、データベース、ウェブページなどのインターネット上の情報

当該の文献の少なくとも最初のページ、発行者や日付情報が分かる部分、および当該のデータを収載したデータベースの収載情報が分かる部分を添付。

7 判決文、法令

裁判所の裁判例情報のウェブページ、判例雑誌の当該部分、または判決文の原本で事件番号、事件名、裁判年月日、裁判所名、部などが書かれた部分。

政府機関のウェブサイトで見られる当該法令のウェブページ。

8 薬品、機器の添付文書

各社または独立行政法人医薬品医療機器総合機構の医療用医薬品の添付文書情報のウェブページにある添付文書のコピーでもかまいません。

様式集

様式第11について [国際化プロジェクト論文, 和文一般論文]

同等の書式のものでもかまいません。□は該当するものにレカ黒塗でチェックしてください。

1 投稿区分

執筆要項の1に定める投稿原稿の区分と字数図表点数の区分にチェックしてください。

注 原則として、論文は国際化プロジェクト論文の区分で投稿してください。

政策、経済、法制度などで和文での発表を希望する場合と、著者が英文翻訳を希望しない場合は、従来同様の論文投稿である和文一般論文の区分で投稿してください。

2 論文の題名 (和文および英文)

原則として略語の使用は避けてください。学術集会での演題名と異なってもかまいません。

英文は、先頭は大文字、固有名詞や商品名など以外は小文字で始め、末尾にピリオドは付けません。

例 A simple protocol for preventing falls and fractures in elderly individuals

3 著者名, 共著者名 (和文および英文), 責任著者, 会員非会員の別

英文表記はへボン式, 姓名の順で, 姓をすべて大文字で表記してください (例 SEIKEI Taro) .

責任著者 (corresponding author) 1人にチェックしてください (主著者が兼ねてかまいません) .

4 所属機関名 (和文および英文)

各機関の正式なものを記してください。

5 連絡先

主著者の所属機関の所在地を和文, および英文で記載してください。

例 郵便番号 658-1234 兵庫県神戸市西灘区田畑町 2-12-1

2-12-1, Tabata-cho, Nishinada-ku, Kobe city, Hyogo. Zip 658-1234

あざ「字」は, 原則として英文では表記しません (自治体の正式な英文表記があれば, それを記載) .

6 利益相反のステートメント

様式第3 (利益相反自己申告書) の内容から具体的な金額など実額がわかる情報を省いて利益相反状態を要約した和文と英文を記してください。

7 別刷希望部数, 和文一般論文での要旨英訳の希望

著者が希望する場合, 30部以上10部単位で製作し, 30部を越える費用は著者負担とします (別表参照) .

和文一般論文で英文 abstract を用意できない場合, 要旨からの翻訳のサービスを希望することができます (費用著者負担) .

8 受付・受理されない場合の会報への振り替え投稿その他についての著者の意思

受付または受理されなかった場合, 再度投稿するか, 本学会会報への投稿に変更することを希望するかまたは編集委員会の決定を受け入れるか, あるいは取り下げるか, 著者の意思を明記してください。

様式第1 表紙 (これと同等の様式でも可)

1 区分 国際化プロジェクト論文 和文一般論文 レター

1. 12000字, 図表15点まで 2. 6000字, 図表8点まで 3. 2000字まで

2 題名 和文 _____
英文 _____

3 著者名

主著者 1) 責任著者 和文 _____ 英文 _____ 会員 非会員
共著者 2) 責任著者 和文 _____ 英文 _____ 会員 非会員
3) 和文 _____ 英文 _____ 会員 非会員
4) 和文 _____ 英文 _____ 会員 非会員
5) 和文 _____ 英文 _____ 会員 非会員

4 所属機関名 1) 和文 _____
英文 _____
2) 和文 _____
英文 _____
3) 和文 _____
英文 _____
4) 和文 _____
英文 _____
5) 和文 _____
英文 _____

5 主著者連絡先 所属機関所在地 和文 _____
英文 _____
郵便番号 _____ - _____
電話番号 _____ - _____ - _____
ファクス番号 _____ - _____ - _____
電子メール _____ @ _____
責任著者連絡先 (主著者と異なる場合) 電子メール _____ @ _____

6 利益相反のステートメント

和文 _____
英文 _____

7 別刷希望部数 _____ 部 (30部までは無料. 無料の30部を含めた希望する部数を記載)
要旨英訳の希望 あり (和文一般論文で英訳サービスを希望する場合にチェック. 費用著者負担)

8 受付・受理されない場合の意思 受付されない場合 再投稿 会報投稿に変更 取り下げ
受理されない場合 再投稿 会報投稿に変更 取り下げ

様式第3について [国際化プロジェクト論文, 和文一般論文, 学術集会発表演題論文]

- 一般社団法人日本臨床整形外科学会における事業活動の利益相反 (COI) に関する指針と一般社団法人日本臨床整形外科学会における事業活動の利益相反に関する規則 (様式集の後に収載しています) に基づいて, もれなく記載してください.
- 記入用紙は申告者 (主著者, 共著者) 本人のものと, 申告者の配偶者, 一親等内の親族又は収入や財産を共有する者のものからなっています. その後ろのページにある記入例 (作成見本) を参考にして, 記載してください.
- 主著者と共著者, 全員がそれぞれ用意して取りまとめ, 投稿論文原稿に添付するか, 別送してください.
- 国際化プロジェクト論文では, 主著者, 共著者全員の様式第 3, 様式第 3 別添の書面を取りまとめて, 本学会事務局まで別送してください.
- 不足がある場合, 論文の投稿は受け付けられません.

様式第 3

日本臨床整形外科学会雑誌利益相反自己申告書

日本臨床整形外科学会雑誌は、日本臨床整形外科学会における事業活動に伴う利益相反状態に関する指針と規則を設置し、著者全員に対して、投稿論文の内容に影響を及ぼし得る資金、機器等の物品その他の営利団体等からの提供および貸与ならびにデータの提供や解析、計測や労役などの無形の便宜や支援、雇用その他の営利団体等との利益相反状態の関係その他利益相反の状態を明示することを求めます。

- ・筆頭著者、共著者全員が、それぞれ個別に申告することが必要です。
- ・投稿論文が利益相反状態に関係すると思われることがらについては、投稿日の1年前のものからすべてについて、もれなく記載してください。
- ・申告後に新たな利益相反状態が生じた場合、発生の時点から8週間以内に追加、変更を申告してください。

論文タイトル： _____

誓約： 私は自己の利益相反に関する状況が、別添のとおりであることを誓約します。なお、本申告書の内容を社会的、法的な要請があった場合に開示することを承諾します。

申告日（西暦） _____ 年 _____ 月 _____ 日

申告者（著者、共著者）署名

_____ 印

申告者の配偶者、一親等内の親族又は収入・財産を共有する者の氏名（これらの方々の署名、捺印は不要です。）

次ページの記入欄の注記

- *1 役員、顧問職、社員等については役職を記載してください。
- *2 企業名、持ち株数、申告時の1株あたりの株価を記載してください。
- *3 特許名と申告者に特許権使用料を支払う営利団体等の名称を記載してください。
- *4 営利団体等から、会議の出席(発表)に対し、研究者を拘束した時間、または労力に対して支払われた日当(講演料、交通費、宿泊費、参加費等)について、記載してください。
- *5 事務経費を差し引かず、営利団体等からの全入金額をもとに、有無を記載してください。
- *6 例を参考に、論文に影響を及ぼすその他の支援や利害が生じることがらがあれば、記載してください。

例：資金提供、装具、機器などの物品の貸与や提供

データの提供、解析及び計測、労役などの無形の便宜や支援の有無

論文中に言及する機器や薬などを扱う会社の社員が著者、共著者になっている場合

論文が特定の団体を批判する内容を含む場合

様式第3別添

次ページからの記入例(作成見本)にならって記入してください。

申告者(著者, 共著者)の申告事項

項目	該当	ありの場合, 営利団体等の名称や内容などを記載
1 役員, 顧問職, 社員等の報酬額 一箇所の営利団体等からの報酬額が年間100万円以上	あり・なし	*1
2 株式の利益, 保有 一箇所の企業の株式の年間100万円以上の利益, あるいは当該株式の5%以上保有	あり・なし	*2
3 特許権使用料 一箇所の営利団体等から年間100万円以上	あり・なし	*3
4 日当(講演料, 交通費, 宿泊費, 参加費等) 一箇所の営利団体等から年間50万円以上	あり・なし	*4
5 パンフレットなどの執筆に対する原稿料 一箇所の営利団体等から年間50万円以上	あり・なし	
6 治験, 臨床試験費など 一箇所の営利団体等から支払われた総額が年間 200万円以上	あり・なし	*5
7 受託研究, 共同研究, 寄附金など 一箇所の営利団体等から申告者個人又は申告者が所属 する機関に支払われた総額が年間200万円以上	あり・なし	*5
8 営利団体等が提供する寄附講座に所属 所属する施設名と講座名を記載	あり・なし	
9 臨床研究とは直接関係のない旅行, 贈答品など 一箇所の営利団体等から年間5万円以上	あり・なし	
10 その他論文の内容に影響を及ぼしうるもの 資金提供, 装具, 機器などの貸与や提供等	あり・なし	*6

申告者の配偶者, 一親等内の親族又は収入・財産を共有する者の申告事項

項目	該当	ありの場合, 営利団体等の名称や内容などを記載
1 役員, 顧問職, 社員等の報酬額 一箇所の営利団体等からの報酬額が年間100万円以上	あり・なし	*1
2 株式の利益, 保有 一箇所の企業の株式の年間100万円以上の利益, あるいは当該株式の5%以上保有	あり・なし	*2
3 特許権使用料 一箇所の営利団体等から年間100万円以上	あり・なし	*3

作成見本

日本臨床整形外科学会雑誌利益相反自己申告書

日本臨床整形外科学会雑誌は、日本臨床整形外科学会における事業活動に伴う利益相反状態に関する指針と規則を設置し、著者全員に対して、投稿論文の内容に影響を及ぼし得る資金、機器等の物品その他の営利団体等からの提供および貸与ならびにデータの提供や解析、計測や労役などの無形の便宜や支援、雇用その他の営利団体等との利益相反状態の関係その他利益相反の状態を明示することを求めます。

- ・筆頭著者、共著者全員が、それぞれ個別に申告することが必要です。
- ・投稿論文が利益相反状態に関係すると思われることがらについては、投稿日の1年前のものからすべてについて、もれなく記載してください。
- ・申告後に新たな利益相反状態が生じた場合、発生の時点から8週間以内に追加、変更を申告してください。

論文タイトル： _____

誓約： 私は自己の利益相反に関する状況が、別添のとおりであることを誓約します。なお、本申告書の内容を社会的、法的な要請があった場合に開示することを承諾します。

申告日（西暦） _____ 年 _____ 月 _____ 日

申告者（著者、共著者）署名

整形 太郎

印

申告者の配偶者、一親等内の親族又は収入・財産を共有する者の氏名（これらの方々の署名、捺印は不要です。）

整形 花子

次ページの記入欄の注記

- *1 役員、顧問職、社員等については役職を記載してください。
- *2 企業名、持ち株数、申告時の1株あたりの株価を記載してください。
- *3 特許名と申告者に特許権使用料を支払う営利団体等の名称を記載してください。
- *4 営利団体等から、会議の出席(発表)に対し、研究者を拘束した時間、または労力に対して支払われた日当(講演料、交通費、宿泊費、参加費等)について、記載してください。
- *5 事務経費を差し引かず、営利団体等からの全入金額をもとに、有無を記載してください。
- *6 例を参考に、論文に影響を及ぼすその他の支援や利害が生じることがらがあれば、記載してください。
例：資金提供、装具、機器などの物品の貸与や提供
データの提供、解析及び計測、労役などの無形の便宜や支援の有無
論文中に言及する機器や薬などを扱う会社の社員が著者、共著者になっている場合
論文が特定の団体を批判する内容を含む場合

様式第3別添

作成見本

入例(作成見本)にならって記入してください。

申告者(著者, 共著者)の申告事項

項目	該当	ありの場合, 営利団体等の名称や内容などを記載
1 役員, 顧問職, 社員等の報酬額 一箇所の営利団体等からの報酬額が年間100万円以上	あり・○なし	*1
2 株式の利益, 保有 一箇所の企業の株式の年間100万円以上の利益, あるいは当該株式の5%以上保有	○あり・なし	*2 例: ○○医療器株式会社の1000株の株式を保有, 1株3456円.
3 特許権使用料 一箇所の営利団体等から年間100万円以上	あり・○なし	*3
4 日当(講演料, 交通費, 宿泊費, 参加費等) 一箇所の営利団体等から年間50万円以上	○あり・なし	*4 例: △△製薬株式会社講演会講師料, 交通費
5 パンフレットなどの執筆に対する原稿料 一箇所の営利団体等から年間50万円以上	○あり・なし	例: △△製薬株式会社○○錠と△△錠の解説パンフ レットほか資料の原稿料
6 治験, 臨床試験費など 一箇所の営利団体等から支払われた総額が年間 200万円以上	○あり・なし	*5 例: ○○医療器株式会社
7 受託研究, 共同研究, 寄附金など 一箇所の営利団体等から申告者個人又は申告者が所属 する機関に支払われた総額が年間200万円以上	○あり・なし	*5 例: △△製薬株式会社
8 営利団体等が提供する寄附講座に所属 所属する施設名と講座名を記載	○あり・なし	例: ××大学医学部○○学専攻△△製薬寄附講座
9 臨床研究とは直接関係のない旅行, 贈答品など 一箇所の営利団体等から年間5万円以上	○あり・なし	例: △△製薬株式会社から米国○○学会参加後の 現地観光旅行の航空機代
10 その他論文の内容に影響を及ぼしうるもの 資金提供, 装具, 機器などの貸与や提供等	○あり・なし	*6 例: ○○製薬株式会社による統計解析支援 共著者○○は○○医療器株式会社社員

申告者の配偶者, 一親等内の親族又は収入・財産を共有する者の申告事項

項目	該当	ありの場合, 営利団体等の名称や内容などを記載
1 役員, 顧問職, 社員等の報酬額 一箇所の営利団体等からの報酬額が年間100万円以上	○あり・なし	*1 例: ○○製薬株式会社顧問
2 株式の利益, 保有 一箇所の企業の株式の年間100万円以上の利益, あるいは当該株式の5%以上保有	あり・○なし	*2
3 特許権使用料 一箇所の営利団体等から年間100万円以上	○あり・なし	*3 例: ○○医療器株式会社○○式体幹装具

様式第5, 第6について [国際化プロジェクト論文, 和文一般論文, 学術集会発表演題論文]

様式第5 転載許諾願い 他の刊行物などを投稿論文に利用する場合

- ・投稿する論文に、雑誌、書籍、インターネット上その他の刊行物など、他所の刊行物などの文章、図、表、写真や画像およびその他の文書の全部または一部を転載、改変して利用、または引用の範囲を超えて利用しようとする場合は、その著作権を有する出版社（発行者）および著者の許諾が必要です。
- ・出版社（発行者）が著作権を保有している場合もありますので、著者の許諾を得るとともに、出版社（発行者）の許諾も得るようにしてください。
- ・自著であっても、著作権者が他にいる場合がありますので、ご注意ください（例：この日臨整誌）。
- ・転載許諾の願い出には、この様式第5（またはこれらと同等）の書面で手続きを行ってください。個々の手続きに必要な書面上の改変は、適宜行ってください。
- ・依頼は、それぞれの相手に同じものを2部送り、許諾のサイン（印）を受けた1部を返送してもらってください。
- ・許諾が得られたことを、その文書（またはその写し）を投稿論文に添付することで、明らかにしてください。他の書式または手続きで許諾を得た場合は、それを示す著作権者の文書（またはその写し）を添付してください。
- ・論文中に許諾を明示し、出典を文献に挙げて示してください。

様式第6-1 利用の連絡 機関リポジトリなどに掲載する場合

- ・著者は、投稿した自身の論文を、以下の条件の場合に限り、著者自身の所属機関の機関リポジトリ（電子アーカイブ）、データベース、紀要、病院誌や記録集など、および自身の所属機関が公開するウェブページに掲載することができます。
 - 論文が完成し本雑誌に掲載された完全な形のもの（複写、発行された雑誌の別刷、または本学会ウェブサイトに掲示された電子化されたファイル）に限ります。
 - 商用目的ではない場合に限ります。
 - 出典と著作権関係を明示してください。
- ・上記以外の条件で、引用の範囲を超えた転載をしたい場合は、本学会事務局までお問い合わせください。
- ・論文内に日本臨床整形外科学会と著者以外の第三者が著作権を有する部分がある場合は、その著作権者からは、別途許諾を得る必要がある場合があります。

様式第6-2 転載許諾願い 日臨整誌の内容を他で利用する場合（他所への転載）

- ・日臨整誌内の文章、図、表、写真や画像およびその他の文書の全部または一部を他所へ転載、改変して利用、および引用の範囲を超えて利用しようとする場合、本学会の許諾を得てください（自著であっても）。
- ・転載許諾の願い出には、この様式第6-2（またはこれと同等）の書面で手続きを行ってください。
- ・同じものを2部、本学会事務局まで送付してください。1部を返送します。
- ・利用した先の刊行物などで、出典と許諾を明示してください。
- ・日本臨床整形外科学会以外に著作権者がいる場合があります。その場合は、その著作権者への許諾手続きも必要になりますので、様式第5と同等の書面による手続きをとってください。

様式第5-1 他所のものを日臨整誌に転載する場合. 団体宛 (これと同等の様式でも可)

転載許諾願い

社名・団体名 _____ 著作権取扱ご担当者様

拝啓

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

私儀

ただいま日本臨床整形外科学会雑誌に下記論文を投稿する準備中です。

論文名 _____

貴社（貴団体）刊行の下記著作物の中から、次の文章、図、表をこれに転載させていただきたく、お願い申し上げます。なお、論文が掲載された雑誌が刊行された後、その二次利用（電子出版、オンライン配信、翻訳出版など）に際しましても、あわせてご許可くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

誌名/紙名/書名/刊行物名 _____

論文、章、項目のタイトル _____

著者 _____ 編者 _____ 巻 _____ 号 _____ 発行年 _____

図 ページ _____ 番号 _____ 表 ページ _____ 番号 _____

文章 開始ページ _____ ~ 最終ページ _____

転載に改変を 伴いません 伴います (いずれかにレまたは■でチェック, 下欄に詳細を記載)

転載に際しましては、出典、許諾を明示します。なお、貴社（貴団体）以外の著作権者の許諾を得る必要があります時には、あわせて許諾手続きを取りますので、その連絡先をお教えくださいましたら幸いです。

ご許可いただけますあかつきには、下欄にご記載いただき、1部をご返送下さいましたら幸甚に存じます（1部は貴社・貴団体にての保存用）。お手数ではございますが、お取り計らいのほど、よろしくお願い申し上げます。

敬具

_____ 年 _____ 月 _____ 日

氏名（署名または印） _____ 印

所属機関・団体名 _____

連絡先 所在地 _____

電話 _____ ファクス _____

E-mail _____

承認欄：上記お申し出の文章、図、表などの転載を許可します。

条件（ございましたら） _____

_____ 年 _____ 月 _____ 日

貴社（貴団体）名 _____ 印

様式第 5-2 他所のものを日臨整誌に転載する場合. 個人宛 (これと同等の様式でも可)

転載許諾願い

_____ 様

拝啓

時下, ますますご清祥のこととお慶び申し上げます.

私儀

ただいま日本臨床整形外科学会雑誌に下記論文を投稿する準備中です.

論文名 _____

貴社 (貴団体) 刊行の下記著作物の中から, 次の文章, 図, 表をこれに転載させていただきたく, お願い申し上げます. なお, 論文が掲載された雑誌が刊行された後, その二次利用 (電子出版, オンライン配信, 翻訳出版など) に際しましても, あわせてご許可くださいますよう, よろしくお願い申し上げます.

誌名/紙名/書名/刊行物名 _____

論文, 章, 項目のタイトル _____

著者 _____ 編者 _____ 巻 _____ 号 _____ 発行年 _____

図 ページ _____ 番号 _____ 表 ページ _____ 番号 _____

文章 開始ページ _____ ~ 最終ページ _____

転載に改変を 伴いません 伴います (いずれかにレまたは■でチェック, 下欄に詳細を記載)

転載に際しましては, 出典, 許諾を明示します. また, 発行元にもこの許諾をいただくための手続きを取っておりますことを申し添えます.

ご許可いただけますあかつきには, 下欄にご記載いただき, 1部をご返送下さいましたら幸甚に存じます (1部は貴社・貴団体にての保存用). お手数ではございますが, お取り計らいのほど, よろしくお願い申し上げます.

敬具

_____ 年 _____ 月 _____ 日

氏名 (署名または印) _____ 印

所属機関・団体名 _____

連絡先 所在地 _____

電話 _____ ファクス _____

E-mail _____

承認欄: 上記お申し出の文章, 図, 表などの転載を許可します.

条件 (ございましたら) _____

_____ 年 _____ 月 _____ 日

ご芳名 _____ 印

様式第 5-3 他所のものを日臨整誌に転載する場合、団体宛（これと同等の様式でも可）
*斜体太文字部分*を該当する情報に書き換え、下線部の必要なところを記入してください。

Permission Request Form

Copyright Permission Department
World Orthopedic Publishers Inc.
12345 Union Avenue, Memphis, TN
USA

Dear Sir/Madam,
I am preparing an article

Title: _____,

for the Journal of the Japanese Clinical Orthopaedic Association.

I am requesting permission to use the material described below, in the original and subsequent editions, and/or translations, including electronic formats and/or online use:

Author(s): _____
Journal title: _____ Volume: _____
Book title: _____ Edition: _____
Article title: _____ Publication year: _____
Material to be used: Page(s): _____ Line(s): _____
Figure(s)/Table(s): _____

If the author's permission is necessary, please let me know his/her recent address.

Two copies of this request are enclosed. If you kindly grant permission, please sign both copies of this letter and return one and retain one for your records.

Thank you in advance for your attention to this request.

Sincerely yours,

December 31, 2019

Your signature

SEIKEI Taro, M.D. (your printed name)

Kourou Orthopaedic Clinic

1-2-3, Nataga-cho, Chidoya-ku, Tokyo 100-0001

Japan

E-mail: _____

Permission is hereby granted:

Signature:

Date:

様式第 5-4 他所のものを日臨整誌に転載する場合、個人宛（これと同等の様式でも可）
*斜体太文字部分*を該当する情報に書き換え、下線部の必要なところを記入してください。

Permission Request Form

Dr. John Smith

Department of Orthopedic Surgery, Memphis Clinic

12345 Union Avenue, Memphis, TN

USA

Dear ***Dr. Smith,***

I am preparing an article

Title: _____,

for the Journal of the Japanese Clinical Orthopaedic Association.

I am requesting permission to use the material described below, in the original and subsequent editions, and/or translations, including electronic formats and/or online use:

Author(s): _____

Journal title: _____ Volume: _____

Book title: _____ Edition: _____

Article title: _____ Publication year: _____

Material to be used: Page(s): _____ Line(s): _____

Figure(s)/Table(s): _____

I am now sending a letter to seek similar permission to the publisher.

Two copies of this request are enclosed. If you kindly grant permission, please sign both copies of this letter and return one and retain one for your records.

Thank you in advance for your attention to this request.

Sincerely yours,

December 31, 2019

Your signature

SEIKEI Taro, M.D. (your printed name)

Kourou Orthopaedic Clinic

1-2-3, Nataga-cho, Chidoya-ku, Tokyo 100-0001

Japan

E-mail: _____

Permission is hereby granted:

Signature:

Date:

様式第 6-1 機関レポジトリ掲載（これと同等の様式でも可）

利用の連絡

日本臨床整形外科学会御中

私儀

日本臨床整形外科学会雑誌に掲載されました下記の自著を自機関において利用します。

巻 _____
号 _____
発行年 _____
開始頁 _____
最終頁 _____

利用目的 以下のものを利用する予定です。

上記が該当するものに■かレでチェックしてください。

機関リポジトリ（電子アーカイブ，データベース） 紀要，病院誌，記録集 ウェブページ
その他（ _____ ）

誓約

- ・利用は，自機関内に限ります。
- ・利用に際しましては，出典を明示します。
- ・日本臨床整形外科学会以外の著作権者の許諾を得る必要がある時には，あわせてその許諾を得る手続きを行います。
- ・日本臨床整形外科学会に迷惑はかけません。日本臨床整形外科学会に損害を与えたときは，賠償の責を負います。

_____ 年 _____ 月 _____ 日

氏名（署名または印） _____ 印
所属機関・団体名 _____
連絡先 所在地 _____
電話 _____ ファクス _____
E-mail _____

様式第 6-2 日臨整誌内のものを他所へ転載する場合、同じもの 2 部を送付してください。1 部を返送します。

転載許諾願い

日本臨床整形外科学会御中

日本臨床整形外科学会雑誌の下記を転載させていただきたくお願い申し上げます。

巻 _____ 号 _____ 発行年 _____
図 ページ _____ 番号 _____
表 ページ _____ 番号 _____
文章 開始ページ _____ ~ 最終ページ _____
右欄に最初の 1 行を記入 _____
右欄に最後の 1 行を記入 _____

転載目的：下記への転載の予定です（下欄にその内容を記載、改変を伴う場合はその詳細も記載）。

誓約

- ・転載に際しましては、出典と許諾を明示します。二次利用（電子出版、オンライン配信、翻訳出版）の際にも、出典と許諾を明示します。
- ・日本臨床整形外科学会以外の著作権者の許諾を得る必要がある時は、その許諾を得る手続きを取ります。
- ・この転載により日本臨床整形外科学会および論文の著者に迷惑はかけません。日本臨床整形外科学会または論文の著者に損害を与えたときは、賠償の責を負います。

_____ 年 _____ 月 _____ 日

氏名（署名または印） _____ 印
所属機関・団体名 _____
連絡先 所在地 _____
電話 _____ ファクス _____
E-mail _____

上記お申し出の文章、図、表などの転載を許可します。

- ・該当のものの著作権者の許諾を 要しません 要します（著作権者： _____）
- ・二次利用は 許諾します 許諾しません
- ・刊行（予定）物の原稿、グラ刷りまたはそれらのコピーの送付を 要します 要しません
- ・その他の条件（ _____ ）

_____ 年 _____ 月 _____ 日

日本臨床整形外科学会